

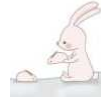
ふじみサラダボール子育て情報

「本が好きになる子どもへ」

令和5年12月6日号



板橋富士見幼稚園



グッドナイトストーリー

言葉は、人と語り合うための大切な手段です。

話しが通じれば喜びがあり、理解できればさらに楽しくなり、人を求めたくなるものです。

幼児期は特に言葉の発達が著しく、現実と虚構の世界が入り混ざっている中で成長していきます。虚構の世界にいるときには、一人でブツブツと自己の心の中に居る相手と語り合うことが出来ます。その相手は、人形や電車・お花などであり、子どもは人以外の様々なものと対話ができる特技を持っています。

なぜ幼児期にだけ、このような特技があるのでしょうか。

それは、人と関わっていくためです。幼児期は何よりも親と語り合うことを求めている、その語り合いこそ満たされる時間となるのです。語り合いの時間を作るためにも、ぜひ、寝る前の少しの時間【20分程度】を、子どもと添い寝をしながら読み聞かせる“グッドナイトストーリー”の時間にしてあげてほしいと願っています。

子どもと一緒に就寝準備をし、腕枕をして絵本を読んであげてください。そうすることで子どもは心から気持ちが解放され、静かな眠りにつくことができるのです。

2歳を過ぎた頃からは動物たちのお話を、3歳過ぎた頃には動物と人が出てくる絵本など、年齢に応じたわかりやすく楽しい絵本を子どもに語り掛けながら、静かな眠りの世界にいざなってあげてください。きっと楽しい夢をながら、深い睡眠がとれることと思います。ご両親で交代しながら、ほんのひと時お話の世界を楽しみ、我が子の寝顔に家族の幸せを感じてほしいものです。

夢の世界へいざなう温かいひとときを・・・

さて、今日はどんな絵本を読んであげましょうか。



【12月2日の作品展では幼稚園の中が様々な世界に変身しました！】